



2021 年度 11 月

北極域技術研究フォーラム
北極域研究共同推進拠点(J-ARC Net)(※)

2021 年度北極域技術研究フォーラムワークショップ

「北極域に関する技術研究のニーズ/シーズ分析とマッチング検討集会」開催

「産業界からの意見集約のための北極域技術研究フォーラム」においては、日本における氷海技術（観測・評価技術、衛星モニタリング技術、適応技術、実証技術）を有する企業、北極域に参入する船舶・海運、石油・ガス企業など、11 業種への日本の技術開発や産学官の取組などに関する強味・弱みや事業の機会などのアンケート並びにヒヤリングを行ってきました。

これらの情報を集約し、北極域に適応できる技術ニーズ/シーズ及び課題をステークホルダーに発信し、その影響・課題解決に向けた方策を分析し、それを反映させるスパイラルを構築する集会活動を行っております。

本ワークショップにおいては、北極関連技術を有する企業・団体より、ニーズ/シーズの接点、実用化に向けた取組や今後の展望などについて紹介いただき、今後の応用の可能性について議論します。

日時：2021 年 12 月 16 日(木)

形態：オンライン開催(zoom)

参加申込氏名(ふりがな)、所属、メールアドレスをご記入の上、メールタイトルを「フォーラムワークショップ参加」とし、下記までお申し込みください。
受付後 zoom URL をメールで送付いたします。

宛先：エンジニアリング協会・黒川 明 kurokawa@ena.or.jp

申込期限：2021 年 12 月 13 日(月)

プログラム

	技術・事業分野	演題	講師	時間
1	オープニング 趣旨説明	北極域技術研究のニーズ/ シーズ分析とマッチング検 討(10分)	田中 雅人 /北海道大学北極域研究セン ター	13:00-13:10
2	北極観測研究船	北極域研究船の概要と利活 用可能性(仮)(20分)	赤根 英介 /国立研究開発法人海洋研究 開発機構	13:10-13:30
3	観測技術・機器	北極海における環境調査の 展望(15分)	後藤 浩一 /株式会社 KANSO テクノス /環境調査	13:30-13:45
		休憩(5分)		13:45-13:50
4		極地における環境・気象計 測のIoT化(15分)	三上 正洋 /株式会社フィールドプロ /観測システム	13:50-14:05
5		極地海洋観測のトライアル &エラー(15分)	吉田 基 /株式会社 ゼニライトブイ /洋上通信・環境観測機器開発	14:05-14:20
6		北極域での長期環境観測の 重要性 -企業の立場から- (15分)	中村 哲也 /日油技研工業株式会社 /総合技術サービス	14:20-14:35
		休憩(10分)		14:35-14:45
7	宇宙衛星データ の活用	氷海気象サービスにおける 衛星データ利用の現状と今 後への期待(15分)	佐川 玄輝 /株式会社ウェザーニューズ /気象海象情報	14:45-15:00
8		パスコの地球観測衛星を活用 したアプリケーション(15分)	寶楽 裕 /株式会社パスコ・測量 /地形図作成、リモートセンシ ング	15:00-15:15
9		北極域での衛星通信 (15分)	弥富 秀文 /株式会社キュービック・アイ /衛星通信	15:15-15:30
	休憩(5分)		15:30-15:35	

10	北極海航路・海運・船舶	北極海からのLNG輸送 (仮)(15分)	泉 史郎 /株式会社商船三井 /船舶	15:35-15:50
11		氷海技術に関する取組み (15分)	山内 豊 /ジャパンマリンユナイテッド株式会社 /造船	15:50-16:05
12		海事からみた北極海(15分)	松沢 孝俊 /国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所	16:05-16:20
	休憩(5分)			16:20-16:25
	ディスカッション(45分)			16:25-17:10
	クロージング	TBD		17:10-17:15

司会:エンジニアリング協会 黒川 明